

第2回 市民との意見交換会開催

南相馬市議会では、復興に向けて共に歩む市民の皆さんの意見を反映させ、議会として積極的な政策提言を行うため「市民との意見交換会」を5月12日から18日まで開催いたしました。意見交換会の内容を深めるため、本年度はテーマを「子どもたちを取り巻く環境づくり」といたしました。

第2回 市民との意見交換会で寄せられた主な内容

地 区	意 見 内 容	検 討 結 果
医療・健康に関すること		
原町・鹿島	小児・産婦人科の減少で入院が困難である。重病の小児患者の対応や小児病棟の整備など小児・産婦人科医療を充実すべき。	小児・周産期医療（産婦人科）の充実に向けて市に申し入れる。
ひがし原町	病院は看護師不足で十分機能していない。看護師不足に対して看護学校の整備等を検討すべき。	相馬地方広域で看護学校を相馬に設置している。さらに看護師確保のため、本市では市独自事業として就学費用（授業料・生活費）を貸与する事業を実施している。
大甕	年少者の帰還率が低い。20km圏外の除染はどの程度進んでいるのか。	山際8行政区は終わっている。今年度、中部地区が始まる。グリーンパークを仮置き場とする。
鹿島・太田	わんぱくキッズ広場については、寒さ対策や、授乳、おむつ替えもできない。誰が管理しているのか。	運営方法と管理運営の改善策を市に申し入れる。
生活環境に関すること		
小高東	月日が経つと、友達関係や様々な要因から、帰還が遠のき戻す環境でなくなってしまう。災害復旧の加速化を図ってほしい。	市道の復旧等、現在進めている。国、県と連携し、さらに加速させるよう要請する。
真野・八沢	施設整備について、優先順位をつけているが、なぜ全体一緒にはできないのか。	重要度が高く市民生活に密接な行政サービス順に進めている。
小高東	小高区行津地区は10数戸しか無く子供が帰ってこない、人口減少が、目に見えている。これからのビジョンについてどうするのか。	現在、多方面から小高区の再構築について計画策定中である。
鹿島	南相馬に避難してきている方の定住策を充実してほしい。	双葉地域の避難者向け災害公営住宅を県が計画し、建設準備を進めている。
鹿島	矢祭町のような出産一時金等の支援を検討してほしい。	進める方向で検討している。
石神	園庭を芝生化した後も放射線量のモニタリングは継続すべきである。	各園にモニタリングポストを設置し監視している。
鹿島	幼い子を抱える家庭では地元の食材を食べない、住民とのリスクコミュニケーションの場を増やして欲しい。	これまで、専門家による講演会や学習会を実施して来たが、地域の要望により、講師の派遣もしている。
原町	年代別の帰還状況はどうなっているか。	今後の資料作成に反映するよう市に申し入れる。
鹿島	保育園の再開が不十分。保育士の待遇改善をして、人員の確保に努めてほしい。	人員確保に努めるよう申し入れる。
上真野	小高区の工業高校の東側は、ごみだらけになっている。	現場確認をし、担当所管に対応を申し入れる。
高平	わんぱくキッズ広場について、幼児が使えるような配慮をしてほしい。	要望として市に申し入れる。
高平	既存の公共施設を活用し、屋内で子どもが遊べる場所を早期に確保してほしい。	幼稚園・保育所等の空き教室の活用も含め屋内遊び場の確保を教育委員会に申し入れる。
鹿島	子育ての経済的負担を考えると、仕事を創ってほしい。新しい仕事が必要。	市内では現在、多くの求人募集があるが、将来に向け市として安定した就労支援をするよう申し入れる。
鹿島	草刈りは2回では不十分。通学路の安全確保の観点から複数回支援を検討してほしい。	担当課へ申し入れる。
教育・福祉に関すること		
真野・八沢	旧真野小学校の有効利用について、老人・子どもが多目的運動場として、使えるようにしてほしい。	市民の意見を尊重し対応するよう市当局へ申し入れる。
小高東 太田	幼稚園・保育園児の帰還率が低いが、子どもたちが早期に帰還できるような環境整備が必要ではないか。	早期帰還の施策充実を求めていく。
上真野 大甕 原町	教育レベルが低い。学力と体力の向上策を図るべきだ。	中学校で塾等の外部講師導入により学力向上策を実施している。体力向上策については各種スポーツ施設の設置等、検討課題とする。
石神	公立幼稚園再開に向けたスケジュールを示すことが必要。	公立幼稚園再開の予定はないが一部公立保育園の再開に向け準備中である。
小高東	小学校通学時に交通量が多く危険な箇所がある。対策を求める。	通学時間帯の交通規制や道路改良等、交通規制について早急に検討するよう申し入れる。
原町	若い母親が帰還する理由について考え、乳幼児向けの室内遊び場等、魅力ある街づくりをしてほしい。	子育てに係る複合施設等の必要性について市当局に申し入れる。

地区	意見内容	検討結果
教育・福祉に関すること		
小高中小高東高平	小高区の小中学校を統合してはどうか。勉強しやすい環境にすべきである。	今後の義務教育の在り方については市全体の問題であり、多方面から考え、検討課題とする。
石神	放射能に関する教育をしっかりと行う必要がある。	現在の放射能に関する教育を更に充実するよう教育委員会へ申し入れる。
太田	人材育成のための高等教育施設の整備が必要ではないか。	テクノアカデミー浜の4年制化も含め高等教育の在り方について検討課題とする。
上真野	子供が外で遊べるような安心安全な環境を作ることが大事。	幼保各園の芝生や遊具の除染と交換、公園遊具の新設等、外で遊べる環境を整備している。更に充実するよう市に申し入れる。
太田	太田幼稚園の再開はどうか、園庭芝の管理はどうなっているのか、維持管理をしっかりとしてほしい。	園庭管理は対応の方向で検討されている。
上真野	わんぱくキッズ広場は低学年向きなので、幼児や高学年の子供が遊べる場所がほしい。鹿島区にも必要。	鹿島区・小高区にも設置を予定しているが、市民要望にも合うよう申し入れる。
太田	中通りで、うちの子には福島県産を食べさせたくないから弁当を持参させているとのこと。南相馬市ではそういったことがあるのか。	本市では弁当持参も可としているが持参者はいない。給食食材はすべて検査し、県外産を中心に月1回程度、県内産を使用している。
広報広聴に関すること		
小高東大甕	意見交換会の出席者数が少ないのでは。市の広報に掲載すべき。	市の広報掲載も含めて、周知方法を広げる。
高平	昨年の意見交換会の内容がどのように整理され、反映されているのか。	各委員会で整理し、対応する先に要望している。その経緯については議会だよりで報告。
鹿島	意見交換の回数が少ない。参加者の世代を幅広くしてほしい。	意見交換会の在り方について検討する。

平成25年度政務活動費精算一覧を公表します

議員の調査研究のために必要な経費の一部として、会派（所属議員が1人の場合も含む）に対して交付されるものです。

政務活動費とは？

会派への交付額は次の基準で交付しています。

○1月あたり1人15,000円×当該月の会派の人員×月数

平成25年度政務活動費精算一覧表

(単位：円)

会派名	友和会	改革クラブ	公明党南相馬市議員	日本共産党議員団	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	総合計
会派構成	平田 武 今村 裕 細田 廣 田中一正 中川庄一 西 一信 山田雅彦 湊 清一 鈴木昌一	小林正幸 小川尚一 竹野光雄 田中京子 西 銃治	志賀稔宗 土田美恵子	渡部寛一 荒木千恵子	大山弘一	奥村健郎	但野謙介	水井清光	太田淳一	鈴木真正		
収入内訳	会派への交付額	1,740,000	900,000	360,000	360,000	180,000	180,000	180,000	180,000	30,000	30,000	4,140,000
	預金 利子	160	40	15	52	29	26	0	0	0	0	322
	会派の収入合計(A)	1,740,160	900,040	360,015	360,052	180,029	180,026	180,000	180,000	30,000	30,000	4,140,322
支出内訳	調査研修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	研 修 費	533,571	610,644	70,961	0	0	79,360	119,270	0	49,125	0	1,462,931
	広 報 費	150,000	504,630	30,000	287,740	186,245	192,150	0	225,540	0	0	1,576,305
	広 聴 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	会 議 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	26,024	0	0	11,587	0	0	0	0	37,611
	資料購入費	34,776	0	72,410	0	0	0	65,842	0	0	0	173,028
	人 件 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事 務 所 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	会派の支出合計(B)	718,347	1,115,274	199,395	287,740	186,245	283,097	185,112	225,540	49,125	0	3,249,875
	収支差引額(A-B)※1	1,021,813	△215,234	160,620	72,312	△6,216	△103,071	△5,112	△45,540	△19,125	30,000	890,447
	市への返還額	1,021,813	0	160,620	72,312	0	0	0	0	0	30,000	1,284,745

※1 交付額を超える支出（収支差引額）については、各会派の負担となります。